

①来年度秋季男子 AB ブロックマッチプレーについて

学生意見交換会、監督懇談会、関東学生理事会での意見を協議した結果、秋季 AB ブロックは 8 校で 3 日間のトーナメント方式のマッチプレーを行う方向で考えています。

しかし、2 年前までのマッチプレーにおける様々な失敗を考慮し、方式を変更します。方式については、以下の 2 点をもとに、各大学の意見を参考にさせていただき予定です。

(1)午前ダブルス、午後シングルスという従来の 2R 制を重視し、ダブルス 3 組、シングルス 6 名で戦う。この場合、組数とタイムパーを考慮して、シングルスについては各大学 2 名ずつの 4 人ドローで行う。

(2)午前ダブルス 3 組、午後シングルス 4 名の 2R 制で試合を行い、出場人数を減らす。この場合は、シングルスは、1 人对 1 人で行う事が可能。

マッチプレーについては、学生から復活を望む声があり、監督方からも 2R でのマッチプレーを望むご意見、そして学生連盟理事会での運営面についての審議により、上記どちらかの方法で来年度秋季 AB ブロックのリーグ戦を開催したいと考えています。

主務会議に参加する学生は、大学内での意見をまとめたうえで、以下の選択肢からどれかを選び解答するようにお願いいたします。また、質問については当日学生連盟に直接していただいても構いません。

- ・ (1)の方式でのマッチプレーを望む
- ・ (2)の方式でのマッチプレーを望む
- ・ 該当校ではないので、どちらでも構わない
- ・ どちらか選ぶことができない為、学生連盟の意向に委任する
- ・ その他

②来年度、距離計測器の使用について

距離計測器の使用について、来年度以降競技会での導入を試みるか否か意見をいただきたいと思えます。主なメリット、デメリットとしては以下のような点が挙げられます。

メリット

- ・今後のゴルフ規則見直しの可能性に向けて、学生連盟が先駆けとして取り入れていく事で、規則改定後もスムーズに導入する事が出来る。
- ・普段から使用していれば、円滑に使用ができ、プレースピードの向上につながる。等

デメリット

- ・使い慣れていない選手が大多数な為、更にプレーの進行が遅れる事が懸念される。
- ・高低表示の使用は、国際的にも認められていないが、その取り締まりが徹底できず、有利不利が働く可能性がある。
- ・自分自身の感覚、ヤーデーシ等による情報収集といった、ゴルフの醍醐味の部分の重要性が薄れてしまう。等

主務会議に参加する学生は、大学内での意見をまとめたうえで、以下の選択肢からどれかを選び解答するようにお願いいたします。また、質問については当日学生連盟にお願いします。

- ・全競技会で距離計測器の使用を可能にするべき
- ・一部の大会(例、関東学生決勝などの個人戦のハイレベルな大会)や、測定器の機器指定(例、高低差表示のないもののみ)といった制限で、距離計測器の使用を試みるべき
- ・今年度通り、使用しなくてよい
- ・メリットデメリットが十分に理解できないので、どちらでも構わない
- ・どちらか選ぶことができない為、学生連盟の意向に委任する
- ・その他